

科目名称：	インテリア・コーディネート演習Ⅱ	
担当者名：	大場新之助、東田修一、西田恵子、塩村亜希、森みち子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	講義	8
授業の目的・テーマ		
インテリアコーディネーターになるための知識や技術を身につけ、社会にとって価値ある能力を育む。また、インテリアコーディネーター資格取得のための本格的な学習に取り組む。		
授業の達成目標・到達目標		
インテリアコーディネートを実践するための知識と技術を身につけ、課題を解決するためのインテリアコーディネートが行える。また、資格取得のための本格的な知識や技術を身につける。		

美術学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、主に基礎教育科目により、基礎知識を修め幅広い教養を身につけ、多様な文化や考えに対応できる。	
DP(2)	主に専門科目により、美術に関する理解を深め豊かな表現力を身につけ、社会の一員として貢献できる実践力を身につけている。	○
DP(3)	多様な社会に対応できるように、自己表現を深化させながらも他者の意見を尊重し、様々な表現を受け入れる豊かな人間性をもっている。	
DP(4)	様々な課題に取り組み、応用力と創造力を身につけて、その中から自己の個性を磨き表現できる。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	模擬試験 小テスト	提出課題 (レポート含む)	オーデイション	合計
美術DP(1)					0
美術DP(2)	0	0	30	70	100
美術DP(3)					0
美術DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》大場新之助：デザイナー	《経験年数1》 11年
	《内容2》東田修一：デザイナー	《経験年数2》 8年
	《内容3》西田恵子：インテリアコーディネーター、講師	《経験年数3》 25年
	《内容4》塩村亜希：建築士(住宅、店舗設計)インテリアコーディネーター、企画広報デザイナー(兼任)	《経験年数4》 25年
	《内容5》森みち子：建築士(一般住宅設計)、インテリアコーディネーター	《経験年数5》 10年

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
知識	インテリアコーディネートに関する知識が良く身につけていて、それを元に問題解決できる。	インテリアコーディネートに関する知識が身につけていて、それを元に問題解決しようとしている。	インテリアコーディネートに関する知識を知っている。	インテリアコーディネートに関する知識があまり身につけていない。
表現力	スケッチや、模型、プレゼンボードを用いて人に感動を与える魅力的な提案ができる。	スケッチや、模型、プレゼンボードを用いて人に伝わる提案ができる。	スケッチや、模型、プレゼンボードを用いて提案ができる。	スケッチや、模型、プレゼンボードを用いているが分かりにくく魅力がない。
行動力	事前準備や調査が十分にできている。興味がある分野を独自に研究できる。	事前準備や調査ができている。興味がある分野がある。	事前準備や調査ができている。	事前準備や調査を怠っている。
プレゼンテーション力	自分の考えや提案を論理的、且つ感動的に伝えることができる。説得力ある主張ができる。	自分の考えや提案を論理的、且つ感動的に伝えることができる。	自分の考えや提案を論理的、且つ感動的に伝えようとしている。	自分の考えや提案がまとまっておらず、理解し難い。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 インテリアと環境	建築が環境に及ぼすインパクトを調べておく	120分
第2回 第1回公開オーディションに向けての研究制作1、資格試験に向けた学習	課題の制作を進めておく。資格試験勉強(歴史/リフォーム)	120分
第3回 第1回公開オーディションに向けての研究制作2、資格試験に向けた学習	課題の制作を進めておく。資格試験勉強(家具/ウィンドウトリートメント)	120分
第4回 第1回公開オーディションに向けての研究制作3、資格試験に向けた学習	課題の制作を進めておく。資格試験勉強(造作/寝室)	120分
第5回 第1回公開オーディションに向けての研究制作4、資格試験に向けた学習	課題の制作を進めておく。資格試験勉強(室内環境/ファブリックス)	240分
第6回 第1回公開オーディションに向けての研究制作5、資格試験に向けた学習	課題の制作を進めておく。資格試験勉強(作図1/エクステリア)	120分
第7回 第1回公開オーディションに向けての研究制作6、資格試験に向けた学習	課題の制作を進めておく。資格試験勉強(作図2/経理)	120分
第8回 第1回公開オーディションに向けての研究制作7、プレゼンテーション、資格試験に向けた学習	プレゼンボードや制作物を完成させ、発表準備をしておく。資格試験勉強(パース1/契約書)	240分
第9回 第2回公開オーディションに向けての研究制作1、資格試験に向けた学習	課題の制作を進めておく。資格試験勉強(照明基礎/論文)	120分
第10回 第2回公開オーディションに向けての研究制作2、資格試験に向けた学習	課題の制作を進めておく。資格試験勉強(照明計画/パース2)	120分
第11回 第2回公開オーディションに向けての研究制作3、資格試験に向けた学習	課題の制作を進めておく。資格試験勉強(現場見学/アイソメ図1)	120分
第12回 第2回公開オーディションに向けての研究制作4、資格試験に向けた学習	課題の制作を進めておく。資格試験勉強(小テスト1/アイソメ図2)	120分
第13回 第2回公開オーディションに向けての研究制作5、資格試験に向けた学習	課題の制作を進めておく。資格試験勉強(立・断面図1)	120分
第14回 第2回公開オーディションに向けての研究制作6、資格試験に向けた学習	課題の制作を進めておく。資格試験勉強(立・断面図2)	120分
第15回 第2回公開オーディションに向けての研究制作7、プレゼンテーション、資格試験に向けた学習	プレゼンボードや制作物を完成させ、発表準備をしておく。資格試験勉強(小テスト2)	240分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。また、事前事後学修としては、課題にかかわらず社会の動向や環境に関して興味をもち行動すること。インテリア・コーディネーター資格試験の予習復習を怠らないことが必要である。

#### 成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。  
前期に2回開催される公開オーディション(審査)の評価70% その他課題の評価30%

#### 課題に対するフィードバック

公開オーディションでは外部専門家を招き、ルーブリックだけではなく多角的に評価し、口頭やコメントシートでフィードバックする。その他の課題はプレゼンテーション等を通して、各教員がルーブリック等を参考に評価しフィードバックする。

#### 教科書・参考書

インテリアコーディネーター合格テキスト 及び 授業時に各教員から紹介またはプリント配布□

□  
□